

【様式】

令和3年度 学校マネジメントシート

学校名 ( 三重県立鳥羽高等学校 )

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		これからの地域社会をささえる若者が育ち合う学校 ～子どもたちが地域の中で生き生きと活躍し、自信と誇りを持って成長する～
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校に誇りを持ち、地域社会をささえる若者として、自らの成長を実感し、自己肯定感、コミュニケーション能力を向上させている。</li> <li>○それぞれの進路実現に向けて、基礎的・総合的な学力や社会的・職業的自立に必要な能力と態度を身につけている。</li> <li>○学校の教育活動や地域貢献活動が、鳥羽・伊勢志摩地域の活性化につながり、地域を支える市民に成長する。</li> <li>○国際交流活動に取り組み、豊かな国際感覚を身につけている。</li> <li>○命の大切さや他者の立場を理解し、自らを律し、思いやりを持って行動できる。</li> </ul>
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育活動を通じて教職員が生徒の成長を実感し合い、誇りと自信を持って学校の組織力を向上させる教職員。</li> <li>○授業を大切に、生徒の基礎学力の定着・向上に取り組むとともに、本校の特色を生かした地域学習や体験的活動を通して総合的な学力を育むことに前向きに取り組む教職員。</li> <li>○一丸となって子どもに向き合い、様々な職種、若手と経験豊かな職員が対話を通じて学び合っている教職員集団。</li> </ul>

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>【生徒】 高校生活の充実（基礎学力の定着・発展的学力の伸長・部活動・仲間づくり）、進路実現</p> <p>【保護者】 子どもの学力・コミュニケーション力・社会性の向上、進路希望の実現、安全で安心して学べる学校</p> <p>【地域】 観光・防災等の地域の活性化への貢献、生涯学習・住民交流の場の提供、生徒の健全育成</p> <p>【企業・大学等の進路先】 社会的・職業的自立に必要な生徒の基礎学力・基本的生活習慣の育成・定着</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>【保護者】 子どもの進路実現、安全・安心の学校づくり</p> <p>【中学校】 生徒の進路保障、中高連携の推進</p> <p>【地域】 地域社会の活性化、生涯学習の場の提供</p> <p>【企業・大学等】 基礎学力の定着・向上、基本的生活習慣の育成</p>	<p>【保護者】 PTA活動等生徒の成長支援への連携・協力</p> <p>【中学校】 生徒の継続した成長支援のための情報共有、中高連携の推進</p> <p>【地域】 地域学習活動の機会・素材・人材の提供、生徒の健全育成活動での連携・協力</p> <p>【企業・大学等】 キャリア教育や地域学習等の素材・人材・場の提供</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の中における小中学校の児童生徒、教員保護者等との連携、交流や情報発信の方法を検討する。</li> <li>・生徒が作成した動画やVRを使った学校のPR活動を推進する。</li> <li>・ICT教育に必要なタブレットやノートパソコンの活用を推進する。</li> </ul>	

(4) 現状と課題	教育活動	<p><b>【現状】</b> 平成27年度入学生から、デュアルシステムを含む教育課程やキャリア教育計画が実施されている。地域の特性を生かした観光教育、地域学習の要素を取り入れた学習を通じて、生徒は総合的な学力をつけ、将来の地域社会を支える市民へと成長するための仕組みが整いつつある。多くの生徒が3年間の総合学科の多様な教育活動や部活動等を通じて大きく成長している。授業に向かう姿勢や服装、登下校のマナーも向上している。しかし一方で、十分な自尊感情を持ってない生徒や仲間との良好な関係づくりが苦手な生徒も見られる。</p> <p><b>【課題】</b> ＜主体的・対話的で深い学びについて＞ アクティブラーニングの視点から授業の見直しを図るとともに、地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業を受け、鳥羽市や関連企業等との連携を更にすすめることで、生徒の主体的・対話的で深い学びを推進する必要がある。</p> <p>＜ICT教育について＞ 昨年度、校内のインターネットに係る環境整備がある程度整った。今年度は、その活用について十分に検討し、基礎学力の定着に生かすとともに、地域との連携や国際交流活動に生かしていく必要がある。</p>
	学校運営等	<p><b>【現状】</b> 南勢地域で唯一の総合学科高校として、特色ある教育活動を展開しているが、伊勢志摩地域の中学校卒業者の急減等に伴い、募集定員を満たせない状況が続いている。平成29年度から学校活性化協議会を設置し、地域と学校がこれまで以上に連携して学校を活性化していく議論や取組を進めている。若い教職員が多い職場であるため、若手と経験豊富な教職員が対話を通じて学び合う前向きな学校文化、風通しの良い職場風土を築くことが必要である。</p> <p><b>【課題】</b> 昨年度は、国際交流をはじめコロナ禍においても新たな取組を実践し、「広報とば」をはじめ、様々なメディアで取り上げてもらったが、中学生やその保護者に十分に情報が届かず、入学定員に届かない状況が続いている。今後は情報発信の方法を見直し、本校の現状を地域に理解してもらい、選ばれる学校づくりを進める必要がある。</p>

### 3 中長期的な重点目標

教育活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 組織的な授業研究、授業改善及び教材開発に取り組み、子どもたちの基礎学力の定着・発展的学力の伸長を図り、一人ひとりの進路実現につなげる。</li> <li>2 観光教育の視点での地域学習を推進し、体験的活動を通して、確かな学力や自尊感情、自らの未来を切り開く意欲・態度を育てる。</li> <li>3 学力の向上とともに、部活動の活性化を促進し、地域社会に貢献できる人材を育成する。</li> </ol>
学校運営等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成27年度から改編された総合学科の系列学習が円滑に実施できるよう校内外での条件整備に取り組む。</li> <li>2 全職員がまとまって子どもに向き合い、一人ひとりの成長を支援できるよう、組織力の向上と前向きな学校文化の醸成を図る。</li> <li>3 組織のしくみの改善や働きやすい職場づくりに取り組む。</li> </ol>

### 4 本年度の行動計画と評価

#### (1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。  
 【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導の 充実	<p>(1) 基礎学力の定着・向上</p> <p>① 生徒の学力の客観的な把握と学力に不安のある生徒への継続的な指導に取り組む。</p> <p><input type="checkbox"/> スタディサプリ等の実施と活用</p> <p><input type="checkbox"/> 学力に不安のある生徒に対する課題・補習等の継続した指導の実施</p> <p>② 学習習慣を確立し、家庭での学習を促進する。</p> <p><input type="checkbox"/> 授業における日常的な小テストや課題・宿題の実施</p> <p><input type="checkbox"/> TT や少人数授業等によるきめ細かい指導</p> <p>③ 組織的な「学び直し」を授業内外で行う。</p> <p><input type="checkbox"/> 「マナトレ」「スタディサプリ」等を活用した授業における継続的な学び直しの実施</p> <p><input type="checkbox"/> 「朝学」の実施</p> <p>④ 「わかる授業」、学習意欲を高める学習活動をめざし、組織的な授業改善、授業研究及び教材開発を図る。</p> <p><input type="checkbox"/> ICTを活用した授業を検討する。</p> <p><input type="checkbox"/> 授業公開週間：年 2 回設定・実施</p> <p><input type="checkbox"/> 公開研究授業及び授業力向上研修：年 2 回実施</p> <p><input type="checkbox"/> 授業改善に関する校外での教員研修への参加：年間 5 人以上</p> <p><input type="checkbox"/> 教科会を授業改善の研究・交流の場として活用：各学期 1 回以上実施</p> <p><input type="checkbox"/> ユニバーサルデザインを意識した授業に向けての教室等の環境整備</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の中学校と連携した授業改善に関する取組：公開授業等への相互参加 5 人/年</p> <p>⑤ 社会人として必要なスキルを身につけるため各種検定試験や資格取得に取り組む。</p> <p>(2) 思考力・判断力・表現力の習得・向上</p> <p>① 主体的・対話的で深い学び、生徒主体の授業づくりに向けての実践研究に取り組む。</p> <p><input type="checkbox"/> 全教科でアクティブラーニングを取り入れた授業づくりの実施</p> <p>② 授業等における発表や総合学科発表会等、生徒の学びの成果を発表する校内外の機会を充実させる。</p> <p><input type="checkbox"/> 校内外での公开发表会の実施・参加：年間 5 回以上</p>	<p>(年度末および適宜記載)</p>	<p>※</p> <p>◎</p> <p>※</p> <p>※</p>

<p>生徒指導の充実</p>	<p>(1) 自尊感情・規範意識・人権感覚の涵養</p> <p>① 授業規律確保の指導を徹底する。</p> <p>② 挨拶や言葉遣い、頭髪や服装等、基本的な生活習慣の確保や規範意識・コミュニケーション力向上の指導を全職員で徹底するとともに、自尊感情を育む生徒へのあたたかい声かけを行う。</p> <p>□ 挨拶指導の徹底</p> <p>□ 制服等の着こなし指導、異装束等の預かり指導の徹底</p> <p>□ 毎朝の登校指導、授業時間中の校内巡視の実施</p> <p>③ 生徒の環境美化意識の向上を図り、清掃活動・環境美化活動の充実・徹底に取り組む。</p> <p>□ クリーン週間の実施：年2回</p> <p>□ 校外環境美化活動：年2回</p> <p>④ 人権教育推進計画及び人権教育カリキュラムに基づき、計画的な人権学習を推進する。</p> <p>□ 公開人権 LHR の実施：年1回</p> <p>(2) いのちを大切にする教育の推進</p> <p>□ 各教科等において「いのちを大切にする教育」を内容とした授業の実施：年間1回以上</p> <p>□ 「いのちの大切さ」に関する生徒向け講話・講演等の実施：年間1回以上</p> <p>□ カウンセリングマインド・アンガーマネジメント等に関する校内研修の実施：年間1回以上</p> <p>(3) いじめを許さない姿勢の育成</p> <p>□ いじめ防止アンケートの実施：年間3回以上</p> <p>(4) 生徒情報の的確な把握と情報共有を進め、専門家・機関と連携した生徒指導、教育相談を行う。</p> <p>□ 人権教育推進委員会での生徒情報共有：月1回</p> <p>□ 支援委員会での支援対象生徒情報共有：各学期2回</p> <p>□ スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、特別支援員との連携</p>		<p>◎</p> <p>※</p>
<p>キャリア教育の充実と進路保障の取組</p>	<p>(1) 基礎学力の定着・向上</p> <p>① 総合的な学習の時間や朝学の時間を活用し、基礎学力の必要性を理解させ、学びを深める。</p> <p>② 生徒の進路希望や実態を踏まえ、進学や資格取得のための補習や個別指導に取り組む。</p> <p>(2) 確かな進路実現に向けた細やかな進路指導とコミュニケーション力の向上に取り組む。</p> <p>① 進路決定につながる情報や資料を具体的に生徒に提示し、面談を密に行う。</p> <p>② 全教員による実践的な面接指導を実施する。</p> <p>③ 挨拶や言葉遣い、身だしなみ、基本的な生活習慣等、社会人として必要な最低限のルール・マナーを意識付けるよう声かけを</p>		<p>◎</p>

	行う。		
学校の魅力化・活性化と地域学習の推進	<p>(1)市当局や小中学校、地域関係者等の参画による学校活性化協議会を開催し、活性化プランに基づく取組を推進する。</p> <p>□協議会の開催:年間3回</p> <p>(2)各教科、系列の授業や「産業社会と人間」等での地域学習の充実を図る。</p> <p>□外部講師による地域学習・フィールドワーク:年間20回以上</p> <p>□鳥羽市との連携・協働による地域課題解決型授業の構築</p> <p>(3)デュアルシステム及びインターンシップの円滑な実施と課題改善に努める。</p> <p>(4)観光教育の視点での地域学習を推進する。</p> <p>①全国高等学校観光教育研究協議会主催「全国高等学校観光教育研究大会」「観高サミット」への教員・生徒の参加</p> <p>②「全国高等学校観光選手権大会」への参加を核とした地域学習の取組</p> <p>③県外の高等学校との定期的な観光教育学習の交流</p> <p>(5)国際交流を推進し、豊かな国際感覚を身につけた人材の育成を図る。</p> <p>□国際交流活動:年間2回以上</p>		◎  ※
改善課題			
(年度末に記載)			

## (2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」:定期的に進捗を管理する取組 「◎」:最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
情報発信・広報強化の取組	<p>学校教育活動の情報発信と広報を強化する。</p> <p>□『広報とば』への情報提供、記事掲載:年間3回以上</p> <p>□ホームページの更新:週1回以上</p> <p>□学校情報紙の中学生への配布:年間3回以上</p>	(年度末および適宜記載)	◎
働きやすい職場環境づくり	<p>(1)業務の精選や改善、校内組織の点検等を行い、総勤務時間の縮減を図る。</p> <p>① 学校行事の精選により一層取り組む。</p> <p>② 週休日の振替及び勤務時間の適正な割振を推進する。</p> <p>・デスクネットを活用し、会議の精選、効率的・効果的な会議運営、会議時間の短縮を図る。</p> <p>□1時間以内に終了する会議の割合:放課後に行う会議の80%以上</p> <p>・月2日の定時退校日と夏季休業中の学校閉校日を設定す</p>	(年度末および適宜記載)	◎  ※

	<p>る。</p> <p><input type="checkbox"/> 定時退校日の定時退校率:全職員の80%以上</p> <p>・昨年度より多くの休暇を取得する。</p> <p><input type="checkbox"/> 休暇取得:1人当たりの年間休暇取得日数10日以上</p> <p>・時間外労働時間の削減を推進する。</p> <p><input type="checkbox"/> 1人当たりの月平均時間外労働25時間以下</p> <p><input type="checkbox"/> 年360時間を超える時間外労働者数0人</p> <p><input type="checkbox"/> 月45時間を超える時間外労働者の延べ人数0人</p> <p>(2) 学校部活動運営方針を策定し、運用する。</p> <p><input type="checkbox"/> 予定通り休養日を実施できた部活動の割合80%以上</p> <p>(3) 「信頼される学校であるための行動計画」の取組推進</p> <p><input type="checkbox"/> コンプライアンスミーティングの実施:年3回以上</p> <p>(各回は体罰に関する内容を必ず含む)</p>		<p>※</p> <p>※</p> <p>※</p> <p>※</p> <p>※</p> <p>※</p>
改善課題			
(年度末に記載)			

## 5 学校関係者評価

<p>明らかになった 改善課題と次へ の取組方向</p>	<p>(年度末に記載)</p>
--------------------------------------	-----------------

## 6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動につ いての改善策</p>	<p>(年度末に記載)</p>
<p>学校運営につ いての改善策</p>	<p>(年度末に記載)</p>